

令和3年度事業報告書

I 会務報告

1. 会員の状況について

	正会員	準会員	合計
今期末会員数	2,831人	1人	2,832人
前年度会員数	2,846人	0人	2,846人
増減	△15人	1人	△14人

支部別会員数は、添付諸表資料1のとおり

2. 賛助会員について

(1) 団体等

北海道農業共済組合連合会	500,000円
ホクレン農業協同組合連合会	350,000円
(株)札幌夜間動物病院	200,000円
北海道農業協同組合中央会	100,000円
(一社)ジェネティクス北海道	100,000円
(株)高橋動物病院	100,000円
酪畜支援センター	100,000円
(有)なかとんべつ動物病院	50,000円
(株)TYL	50,000円

(2) 個人

なし

3. 名誉会員の推薦について

令和3年12月14日開催の理事会において、各支部長から推薦のあった下記13人の会員を名誉会員にすることとし、令和4年度地区獣医師会総会において名誉会員証を授与することとした。

長澤次郎（石狩）、服部健治（石狩）、高橋 健（石狩）、福永 伸（石狩）、高畠 滋（石狩）、多胡正美（空知）、北 厚行（道南）、大野和道（胆振）、吉田節男（胆振）、児玉宜廣（十勝）、徳本勝弘（十勝）、中野博良（十勝）、樋口 脩（十勝）

4. 役職員の異動について

(1) 役員

令和3年6月16日、第9回定時代議員会及び引き続き開催した第4回理事会において新役員が選任され、同日就任した。

< 報告事項 >

1. 業務執行状況について

< 議決事項 >

1. 名誉会員の変更について
2. 地区学会幹事の変更について
3. 北海道獣医師会館の建替えについて

< 協議事項 >

1. 令和3年度大会・地区学会の運営について
2. 令和3年度定時代議員会における書面等による議決権の行使について

【第2回】

日 時：令和3年5月19日(水)

会 場：北海道獣医師会館（ウェブ併用）

< 報告事項 >

1. 職務執行状況（4月末までの）について
2. 傷病鳥獣等保護受託業務について

< 議決事項 >

1. 令和2年度事業報告及び決算の承認について
2. 令和2年度決算監査結果について
3. 令和3年度賛助会員について
4. 令和3年度役員報酬について
5. 役員の改選について
6. 令和3年度（第9回）定時代議員会の開催について
7. 代議員会における書面等による議決権の行使について
8. 地区学会開催オンライン費用について
9. 支部事務局長の変更について
10. 部会委員・会誌編集委員の変更について

< 協議事項 >

1. 日本獣医師会役員・部会役員の推薦について
2. 令和3年度地区学会における発表申込みの集約について

【第3回】

日 時：令和3年6月16日(水)

会 場：ホテルヤマチ

< 議決事項 >

1. 支部事務局長の変更について

< 協議事項 >

1. 令和3年度（第9回）定時代議員会の開催について
2. 令和3年度地区学会について

【第4回】

日 時：令和3年6月16日(水)

会 場：北海道獣医師会館

<議決事項>

1. 会長・副会長・専務理事の選任について
2. 役員報酬等の執行について

【第5回】

日 時：令和3年9月15日(水)

会 場：北海道獣医師会館(ウェブ併用)

<報告事項>

1. 令和元年度・2年度会誌優秀論文表彰者について
2. 諸会議等開催状況について

<議決事項>

1. 顧問の委嘱について
2. 部会委員の委嘱について
3. 会館建替え特別委員会の設立について

<協議事項>

1. 会館建替えについて
 - ・建替え費用と資金計画
 - ・会館建替寄附金(寄附金等取扱規程改正と募集要項)
 - ・会費規程の改正

【第6回】

日 時：令和3年12月14日(火)

会 場：北海道獣医師会館

<報告事項>

1. 職務執行状況(11月末までの)について
2. 業務執行状況について
3. 中間監査の結果について
4. 狂犬病注射事故発生状況について

<議決事項>

1. 令和4年度大会・地区学会の開催について
2. 令和4年度名誉会員について
3. 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について
4. 寄附金等取扱規程の改正と募集要項について
5. 会費規程の改正について

6. 会館建替えに向けた各案件について

- ① 土地購入の件
- ② 土地売却の件
- ③ 事後承認に関する件

<協議事項>

- 1. 令和4年度事業計画（案）について

【第7回】

日 時：令和4年3月16日(水)

会 場：北海道獣医師会館（ウェブ併用）

<報告事項>

- 1. 業務執行状況について

<議決事項>

- 1. 令和4年度事業計画等について
- 2. 不動産賃貸事業「所有地の貸付けの廃止」について
- 3. 獣医学術北海道地区学会運営規程の廃止と制定について
- 4. 会館建替え業者選定（支払いを含む）の事後承認について

<協議事項>

- 1. 会館建替会費の徴収期間について
- 2. 融資先選定の現況について
- 3. 会館建替えの現況について
- 4. 代議員会の開催方法について

(3) 監 査

令和2年度決算監査	令和3年5月14日（金）	北海道獣医師会館
令和3年度中間監査	令和3年11月25日（木）	〃

(4) 三役会議

第1回	令和3年8月18日（水）	北海道獣医師会館
第2回	令和3年10月1日（金）	〃
第3回	令和3年11月1日（月）	〃
第4回	令和3年11月30日（火）	〃
第5回	令和3年12月20日（月）	〃
第6回	令和4年1月24日（月）	〃
第7回	令和4年2月16日（水）	〃

(5) 事務局長会議（ウェブ開催）令和4年3月9日（水）

(6) 各部会、委員会

役員候補者推薦管理委員会	令和3年4月5日(月)	北海道獣医師会館
小動物臨床部会	令和3年4月13日(火)	〃
北獣雑誌編集委員会	令和3年4月20日(火)	〃
産業動物臨床部会	令和3年4月27日(火)	〃

(7) 学会関係

獣医学術地区学会長会議	令和3年6月21日(月)	北海道獣医師会館
〃	令和4年3月10日(木)	(ウェブ開催)

7. 弁護士との顧問契約について

札幌市内で法律事務所を開設している橋本智弁護士(事務所 Tel : 011-272-1056)と顧問契約を締結し、会員の法律的な事案に相談対応できる体制を継続している。

II 事業報告

公益目的事業 1： 獣医学術の振興・普及並びに人材の育成を図る事業

獣医学及び獣医療の最新の研究成果、優れた診療実績等を共有し、獣医師全体の技術向上を図り、それらの成果を社会に還元する。

1. 獣医学術北海道地区学会・北海道獣医師大会の開催

(1) 獣医学術北海道地区学会の開催

- ①令和3年度獣医学術北海道地区学会は、初めてオンデマンド開催した。視聴期間は9月2日(木)～16日(木)までに15日間で420名の参加があった。
- ②発表演題は産業動物獣医学会44題、小動物獣医学会23題、獣医公衆衛生学会10題の、合計77題がエントリーされた。
- ③各地区学会会長賞、北海道獣医師会会長賞・奨励賞については、獣医学術地区学会役員による審査会において慎重に審議され、次のとおり選定された。

【令和3年度北海道地区学会優秀発表演題と発表者】

1. 日本産業動物獣医学会（北海道）

【北海道地区学会会長賞】

「ホルスタイン乳牛の十二指腸における腸閉塞の4例」

○大脇茂雄 金田利明 小林弘典 内山愛子 坂口加奈 渡辺 隆 倉富幹太
NOSAI オホーツク

「黒毛和種去勢手術におけるキシラジン鎮静作用からのアチパメゾールおよびトラゾリンによる覚醒の評価」

○山川翔平 塚野健志
NOSAI みなみ

「サラブレッドにおける繋靭帯炎のPRP療法の有効性について」

○佐藤大介 伊比太佑 伊藤花菜子 川嶋健太
追分ファーム

【北海道獣医師会会長賞】

「同一牛から分離された性状の異なる *Salmonella Typhimurium* (O4:i:-) の分子疫学的解析と薬剤耐性について」

○井澤将規¹⁾ 原 希和子²⁾ 稲垣華絵³⁾ 玉村雪乃⁴⁾

1) 宗谷家保 2) 釧路家保 3) 檜山家保 4) 農研機構動衛研

「サラブレッド競走馬の第三手根骨骨折に対する内固定手術の回顧的調査」

○山家崇史¹⁾ 加藤史樹¹⁾ 鈴木 吏¹⁾ 田上正幸¹⁾ 都築 直²⁾ 南保泰雄³⁾
田上正明^{1,3)}

1) 社台ホースクリニック 2) 帯畜大獣医臨床学

3) 帯畜大グローバルアグロメディシン研

【奨励賞】

「ホルスタイン乳用牛群への乳房炎多価不活化ワクチン導入と多年度接種による大腸菌性乳房炎および生乳出荷成績への効果」

○古守 温 園田一輝 福留茉優 新里実子 松山樹生 須戸皐月 安藤達哉
酪農大生産動物医療学

「乳用牛における BoDV-1 抗体保有状況による GnRH 負荷試験での LH および FSH 反応性」

○福留茉優¹⁾ 土橋享介²⁾ 前田沙優里³⁾ 古守 温¹⁾ 萩原克郎³⁾ 安藤達哉¹⁾
1) 酪農大生産動物医療学 2) 岩手 NOSAI 3) 酪農大・感染病理学

2. 日本小動物獣医学会（北海道）

【北海道地区学会賞】

「強度変調回転照射法を用いて定位放射線治療を実施した犬の鼻腔腫瘍 41 例」

○出口辰弥¹⁾ 細谷謙次¹⁾ 金 尚昊²⁾ 木之下怜平¹⁾ 竹内恭介¹⁾ 奥村正裕²⁾
1) 北大附属動物病院 2) 北大獣医外科学

「ウサギの臨床現場における血清アミロイドA濃度測定の有用性の評価」

○大橋英二¹⁾ 松井李穂¹⁾ 大橋銀河¹⁾ 松本高太郎²⁾
1) あかしや動物病院 2) 帯畜大臨床獣医学

【北海道獣医師会長賞】

「三次元 CAD モデルが内視鏡外科の手術支援に有用であったの犬の 2 例」

○細谷謙次¹⁾ 大脇 稜²⁾ 松本 創¹⁾ 木之下怜平¹⁾ 金 尚昊²⁾ 奥村正裕²⁾
1) 北大附属動物病院 2) 北大獣医外科学

「非造影 4D-MRA により診断した鎖骨下動脈盗血症候群の犬の 1 症例」

○新坊弦也¹⁾ 越後良介^{1,2)} 滝口満喜³⁾
1) 北大附属動物病院 2) 日本動物高度医療センター 3) 北大獣医内科学

【奨励賞】

「門脈枝結紮による残存肝の代償性肥大後に肝臓中央・左区域を一括切除した犬の肝臓腫瘍 1 例」

○大楠大介¹⁾ 貝沼大樹²⁾ 酒井俊和^{1,2)} 三好健二郎^{1,2)} 鳥巢至道^{1,2)}
1) 酪農大伴侶動物医療学 2) 酪農大附属動物医療センター

「犬の強度変調回転放射線治療における 10 MV Flattening Filter Free ビームの有用性の検討」

○西澤一希¹⁾ 出口辰弥²⁾ 細谷謙次^{1,2)} 森下啓太郎^{1,2)} 金 尚昊³⁾
木之下怜平²⁾ 竹内恭介²⁾ 奥村正裕³⁾
1) 北大獣医先端獣医療学 2) 北大附属動物病院 3) 北大獣医外科学

3. 日本獣医公衆衛生学会（北海道）

【北海道地区学会賞】

「と畜検査において発見された牛の非定型抗酸菌症の1例」

○中釜尚人¹⁾ 廣川和郎¹⁾ 鈴木竹彦¹⁾ 成澤昭徳²⁾ 池田徹也³⁾

1) 帯広食肉衛検 2) 東藻琴食肉衛検 3) 道衛研

【北海道獣医師会賞】

「牛における冷蔵庫設定温度と冷蔵庫内枝肉モモ芯部温度との関連性」

笹谷優子 足立泰基 泉田真樹 ○紙 未千花 澤 尚樹 山本靖典

八雲食肉衛検

(2) 第71回北海道獣医師大会の開催

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

2. 北海道獣医師会雑誌の発行について

獣医学術の振興・普及並びに諸行事の案内、活動報告等の情報提供の媒体として北海道獣医師会雑誌（北獣会誌）を毎月定期に発刊した。（第65巻第4号～12号及び第66巻第1号～第3号）昨年は会誌編集委員会を中止したため、前年度と前々年度の2年度分の次の3編づつ選定し、賞状を送付した。

令和元年度北海道獣医師会雑誌優秀論文表彰

・産業動物獣医学部門

「北海道渡島管内で発生したヨーロッパ腐蛆病の病性と防疫対応」

○繁在家輝子¹⁾ 齊藤真里子²⁾ 加藤千絵子³⁾ 内田兼司¹⁾

多田規子¹⁾ 早川 潤⁴⁾

1) 渡島家保 2) 日高家保 3) 十勝家保 4) 網走家保

「乳頭口スコアに着目した大規模農場の乳質改善の1事例」

大脇茂雄

NOSAI オホーツク

・小動物獣医学部門

「肺病変を形成した猫骨髄腫関連疾患の1症例」

田川道人¹⁾ 上田裕貴¹⁾ 新坊弦也¹⁾ * 松本高太郎²⁾ 宮原和郎¹⁾

1) 帯畜大動物医療センター 2) 帯畜大獣医学研究部門

* 現所属：北大附属動物病院

令和2年度北海道獣医師会雑誌優秀論文表彰

・産業動物獣医学部門

「開腹手術により救命した子牛の小腸閉塞の4例（2019年7月～2020年6月）」

樋口 徹¹⁾ 佐藤正人¹⁾ 宮越大輔¹⁾ 吉村誠司¹⁾ 海道磨里¹⁾

上野大作¹⁾ 松村恵里¹⁾ 秦 秀明¹⁾ 武田尚悟²⁾

- 1) NOSAI みなみ 2) ひだか C.L.C.

「酪農場におけるサルモネラ環境サーベイランス 10 年の取り組みとその効果」

内田 桐子¹⁾ 神間 清恵²⁾

- 1) 石狩家保 2) 釧路家保

・小動物獣医学部門

「オホーツク地域における猫免疫不全ウイルス FIV および猫白血病ウイルス FeLV の感染状況調査」

犬飼 久生

猫の病院

3. 国際交流について

本会は相互の獣医学術の向上と交流を深め、互いに発展することを目的として、韓国の慶尚北道獣医師会と姉妹提携を結んでいる。現在、海外悪性伝染病である口蹄疫やアフリカ豚熱の発生もあり招聘を延期している。

4. 技術向上に係る講習会、研修会の開催について

本部主催として管理獣医師講習会及びオホーツク支部との共催で放射線講習会をウェブ開催した。野生鳥獣救護技術講習会は昨年引き続き中止した。支部主催により、産業動物・小動物・食検・新技術講習会を実施した。また、地区獣医師会や関係団体の主催する講習会、研修会等に後援・協賛し支援した。

開催状況は添付諸表資料 3 のとおり

公益目的事業 2：人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する事業

人と動物の共通感染症の予防等、公衆衛生や家畜の伝染病予防等の家畜衛生に関する事業並びに動物の愛護・福祉の増進・野生動物の保護に関する事業を推進し、人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する。

1. 狂犬病予防注射事業の推進について

(1) 狂犬病予防注射事業は本会の主体となる公益目的事業として、各支部実施班の協力のもとで実施した。その注射頭数は 158,197 頭（前年比 4,110 頭減）で、減少傾向が続いている。支部別注射頭数は添付諸表資料 5 のとおり

狂犬病予防注射実施率向上対策の一環として、北海道・札幌市・動物愛護団体等と連携し、札幌地下歩行空間で狂犬病予防注射啓発イベントを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

(2) 狂犬病予防注射事業に係る事故について、ワクチンによる副反応事故についても、狂犬病予防注射事故対策要領に沿って補償することとしている。令和 3 年度は犬の事故は死亡 2 頭・回復 17 件の報告があった。犬の事故の多くはアナフィラキシー反応だが、犬の飼養者個々にチラシ等で注意喚起する等、きめ細かい対応がなされ、それぞれ支部実施班で適切に対応した。なお、死亡例は注射直後の発症であり、アナフィラキシーショックが疑われるが、剖検出来なかったことから確定には至っていない。

- (3) 現状の狂犬病ワクチンは1バイアル10ドース分であることから、バイアル開封後の日数経過等により廃棄を余儀なくされる。ワクチンメーカーに対し、1バイアル1ドース製品の開発、供給を要請している。

2. 動物愛護の推進について

- (1) 北海道から委託を受け実施している野生傷病鳥獣保護業務について、会員動物病院等の協力を得て46病院、140頭羽(前年比59頭羽減)の傷病鳥獣の診療、救護費用を補填した。
- (2) 同じく北海道から委託を受け実施している所有者の判明しない犬猫等の診療、保護委託業務では46病院、297頭(前年比36頭増)の保護・診療費用の一部を補填した。
- 札幌市、函館市、旭川市においても、それぞれの市からの受託により同事業を実施し、札幌市13病院25頭、旭川市3病院31頭の保護治療を行った。(函館市は0頭)

3. 公開講座等の開催について

- (1) 北海道医師会との学術連携シンポジウム

高病原性鳥インフルエンザをはじめ多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められている。

このような状況を受け、学術協力を推進する旨の協定書締結に基づき、4月11日(日)「人獣共通感染症、エキノコックス症を今一度考える」をテーマに連携シンポジウム等を計画したが中止した。

- (2) 野生動物部会の協力を得て、野生傷病鳥獣の診療技術向上のため技術講習会を札幌市(円山動物園)、釧路市において例年開催しているが中止した。
- (3) 動物愛護や獣医師の仕事に対する理解を深めるための小学生等を対象にした「どうぶつのお医者さん体験教室」は中止した。

収益事業1：不動産賃貸事業

1. 所有地の貸付け

本会が発寒に所有する土地(670m²)を駐車場用地として(株)コラボに貸付けた。

2. 所有建物の貸付け

北海道獣医師会館の事務室スペースは北海道家畜畜産物衛生指導協会、さっぽろ獣医師会、札幌市小動物獣医師会、日本馬事協会北海道事務所に貸付けするとともに、会議室は各種会議、研修会等に貸付けを行った。

収益事業2：共同購入事業

会員が業務上必要とする各種様式印刷物や診断薬を一括購入し、添付諸表資料6のとおり斡旋販売した。

その他事業1： 福利厚生事業

「福利厚生規程」に基づき、病気見舞金、弔慰金及び生花をそれぞれ添付諸表資料7のとおり贈呈した。

その他事業2： 受託事業

1. 狂犬病予防注射済票交付事業

道内173市町村からの委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、市町村に代わり、狂犬病予防注射を受けた犬の飼養者に対し、狂犬病予防注射済票の交付を行った。

飼養者が居住していない市町村で狂犬病予防注射を受けた場合、注射実施者、責任者や各支部事務局の協力により、狂犬病予防注射済証を当該自治体に送付する事業を実施した。

2. 犬の登録及び鑑札交付事業

道内6市からの委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、狂犬病予防注射実施時に道内6市に代わり犬飼養者の便宜のため犬の登録受付及び鑑札の交付を行った。

3. 動物愛護週間における啓発活動

札幌市小動物獣医師会の主催、道南獣医師会が振興局と共催する動物愛護事業に協賛した。これ以外の江別市小動物開業獣医師会・胆振獣医師会、その他各地区獣医師会で振興局との共催による動物愛護事業等の行事、日本獣医師会が主催する動物感謝デー in Japan “World Veterinary Day” は中止した。

4. 海鳥等保護対策事業

天売島の海鳥保護のため、羽幌町等からの委託を受け、不妊去勢手術、馴化、譲渡等で野良猫を減少させる事業を実施し、環境省・道庁・羽幌町・本会・北海DOぶつネット等による「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会（会長：高橋 徹北海道獣医師会会長）が関係機関とともに活動し、海鳥は増加している。

【会務運営報告】

(1) 組織基盤強化

道内 13 支部、職域及び専門部会と連携し、会員加入拡大を組織基盤の原点として鋭意努めてきた。女性獣医師の役員登用も喫緊のテーマであり、女性獣医師が活躍できる環境強化を継続している。

(2) 北海道獣医師会館建設に向けた財政基盤強化

北海道獣医師会館の建替えは、三役を中心にして協議してきた。一般寄附金を平成 29 年度から 5 年間募り、200 万円超の寄附金をいただいた。令和 4 年 1 月からは会館建替え専用の寄附金を募り、この 3 カ月間で 225 万円の寄附金をいただいた。北海道獣医師会館は北海道獣医師会の活動拠点であり、会員各位の理解のもと活用していく。

(3) ダニ媒介性脳炎対策事業

人獣共通感染症である本病を会員動物病院と北海道大学の協力を得て、抗体検査・ウイルス分離調査を行った。令和 3 年度の陽性事例はなかったが、西日本では致死率の高い SFTS が大きな問題であり、それらを含め継続して啓発していく。

(4) ヒト及び伴侶動物由来細菌の遺伝的類似性の検討における

前向き観察研究への協力

薬剤耐性菌問題は家畜からペットに対策が移行しており、日本獣医師会からも採材依頼があり、会員動物病院にも協力いただいた。

(5) 新型コロナウイルス感染症における対応

会員へ罹患防止を呼びかけ、特に独居飼養現場では感染時の対応を事前に準備しておくことの啓発をしている。

(6) 女性獣医師の就業環境の整備と就業促進

新卒の約半数が女性獣医師であり、特に産業動物分野で活躍できる環境づくりを関係機関に啓発している。

(7) 愛玩動物看護師国家資格取得者の増進

令和 4 年 5 月 1 日に施行される愛玩動物看護師法に向けて、現在の認定看護師が国家資格を取得できるよう情報発信している会員動物病院等と協力していく。

(8) 産業動物及び公務員獣医師の確保

北海道 NOSAI、北海道庁から道内採用予定人数と就業決定状況を確認している。北海道の基幹産業である酪農・畜産業界に定着してもらえる処遇をはじめ、令和 4 年度から始まる一農業共済組合理体制に向けて、現場の状況を鑑みながら協働していきたい。

(9) 広報活動の推進

北海道獣医師会雑誌は毎月発刊しており、道内獣医師の学術論文等や事業内容を会員に幅広く広報している。コロナ禍では従前以上に広報活動が必須となっている。

(10) 獣医師倫理の高揚

臨床分野では高度獣医療が必要とされている。インフォームドコンセントが言われている現在、信頼される獣医師像を継続・模索していく。